

## 臨床研究へのご協力のお願い

アレックス脊椎クリニックリハビリテーション科では、下記の臨床研究を理学療法科学学会研究倫理審査会の審査を受け、院長の許可のもと実施致します。

研究の趣旨をご理解頂き、ご協力をお願い致します。

この研究の実施にあたっては患者様の新たな負担（費用や検査など）は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者様のプライバシーの保護には最善を尽くします。この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解されない場合は、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意を頂いたものとして研究を実施させて頂きます。

### 【研究課題名】

骨粗鬆症椎体骨折患者に対する理学療法の有無が椎体圧潰変化率に与える影響

### 【研究を行う施設と責任者】

研究を行う施設は「アレックス脊椎クリニック」です。

研究責任者は理学療法士の「井関 航」です。

### 【研究の目的と背景】

脊椎圧迫骨折による腰痛などの症状には、運動療法が第一に推奨されています。また、運動療法や徒手療法、物理療法を含む包括的な理学療法プログラムは、骨密度や身体機能の改善に有効といわれています。しかし、理学療法を実施することで圧迫骨折してしまった椎体が修復されるかどうかをレントゲン写真で経過を追った研究は多くありません。この研究では、脊椎圧迫骨折患者さんの過去のカルテを使用して、骨折部位や骨折形態および理学療法の有無を調査し、理学療法が圧迫骨折した椎体が修復もしくは進行予防に影響を与えるかを明らかにし、今後の腰痛治療の一助としたいと考えています。

### 【研究の方法】

#### ●対象となる方

当院の医師により「脊椎圧迫骨折」と診断され、レントゲン画像とMRI画像を撮影し、理学療法の有無を確認できた患者様

#### ●使用させて頂くカルテ情報

○対象となる方の個人情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、罹病期間、受傷機転、受傷高位）

○対象となる方のレントゲン画像、MRI画像

## ●調査期間

2017年4月7日～2023年3月末日の電子カルテからの調査を予定しています。

### 【研究を行うことで得られる患者様の利益】

理学療法プログラムを行うことが、骨折部位の経時的変化に良い影響を与えることが明らかになれば、患者様の理学療法に対するアドヒアランス（考え方）が改善する可能性があると考えます。

また、医師が評価したレントゲン写真とMRI画像から、骨折の程度や骨折した場所の違いにより経時的変化に良い影響を与えるかを判断することができれば、理学療法の適応を決定する際の簡便で有効な方法になると考えます。

### 【研究結果の掲示について】

この研究で得られた成績は、当院のホームページや医学雑誌などに公表される可能性があります。この研究が公表された場合は、問い合わせ先へ連絡を頂ければ、論文等を閲覧できるサイトや、論文のPDFデータを送付させていただきます。個人情報等のプライバシーが記載されている情報は提供できませんのでご了承ください。

### 【個人情報の取り扱いについて】

名前などの個人的情報は一切わからないようにしていますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られた検体やデータを、本研究の目的以外に使用することはありません。

研究終了後のデータは研究担当者が責任を持って廃棄処分致します。

### 【企業等との利益相反について】

この研究において、研究施設・個人の利益になる企業等との資金の発生等はございません。

### 【お問い合わせについて】

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なく研究者にご連絡ください。

＜お問い合わせ等の連絡先＞

施設名：アレックス脊椎クリニックリハビリテーション科

氏名：井関 航

職業：理学療法士

電話：03-5758-1321（代表）

E-mail：wataru-iseki@ar-ex.jp

住所：東京都世田谷区等々力4丁目13-1